

2024年3月期 第3四半期 決算説明会

東海旅客鉄道株式会社

2024年1月30日

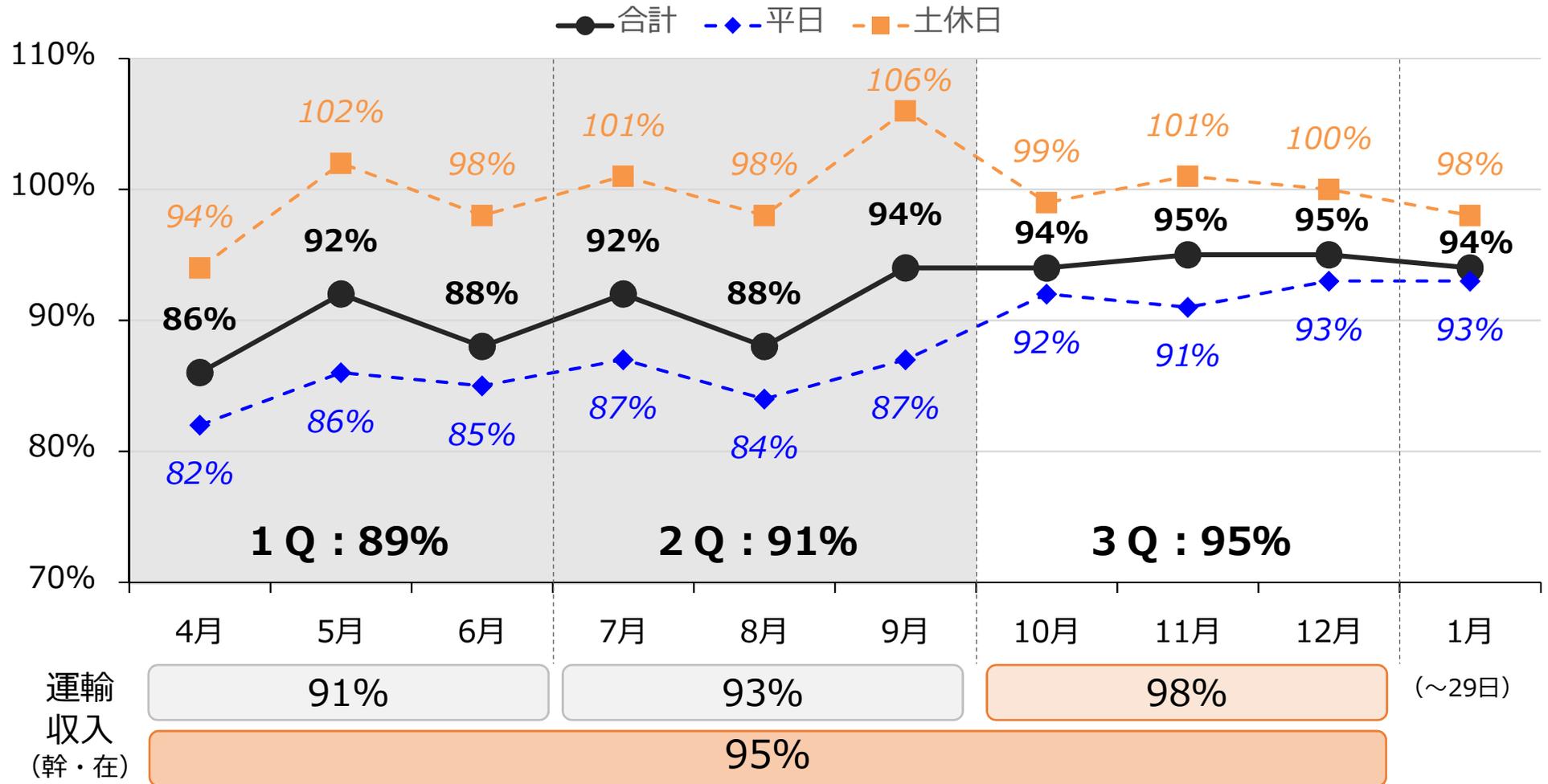
目 次

I	2024年3月期第3四半期	決算実績等	… 3
II	各種施策の状況		…10
III	中央新幹線計画の状況		…14

I 2024年3月期第3四半期 決算実績等

東海道新幹線のご利用状況と運輸収入

■ 東海道新幹線のご利用状況（東京口、2018年度比）



- 秋の観光のご利用が平日・土休日ともにご利用を押し上げた
- ビジネス利用中心の平日よりも、観光利用中心の土休日が好調な傾向が続く
- 3 Qの運輸収入は、業績予想を312億円上回る

年末年始期間（12/28～1/4）のご利用状況

■ 年末年始期間中の新幹線のご利用状況

	前年度比 (同日比)	2018年度比 (1日平均)
のぞみ	107%	103%
ひかり	116%	101%
こだま	105%	92%
新幹線合計	108%	101%



のぞみ号全席指定席の
お知らせ（ポスター）

＜年末年始期間中の1日平均の列車本数（実績）＞

2023年度：435本、2022年度：427本、2018年度：412本

- のぞみを全席指定席で運行し、1列車当たりの普通車指定席を約3割増やし、また、のぞみ12本ダイヤを活用してピーク日・時間帯以外にも多くの列車を運行
- 1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響で一部列車に遅延が発生したが、それ以外では大きな輸送障害はなし。1日平均のご利用は2018年度比101%

損益計算書（連結）

6

（億円）

	2022年度 3Q累計 A	2023年度 3Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益	10,191	12,730	2,538	
運輸業	8,296	10,511	2,214	(+) JR東海(運輸業)
流通業	1,010	1,185	175	(+) JR東海リテイリング・プラス、 JR東海高島屋
不動産業	571	619	47	(+) 東京ステーション開発、JR東海不動産
その他	1,638	1,672	34	(+) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
営業費	7,127	7,704	576	
営業利益	3,063	5,025	1,962	
運輸業	2,843	4,684	1,840	(+) JR東海(運輸業)
流通業	54	93	38	(+) JR東海リテイリング・プラス、 JR東海高島屋
不動産業	151	178	26	(+) 東京ステーション開発、JR東海不動産
その他	24	80	56	(+) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
経常利益	2,544	4,551	2,006	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,806	3,187	1,381	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

損益計算書（単体）

7

（億円）

	2022年度 3Q累計 A	2023年度 3Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益 (運輸収入)	8,368 (7,826)	10,580 (10,038)	2,211 (2,211)	新幹線+2,117、在来線+93
営業費	5,460	5,841	381	
人件費	1,276	1,316	39	ベースアップ、賞与月数の増等
物件費	2,395	2,709	314	
動力費	446	430	△16	単価の減等
修繕費	686	911	224	大規模改修引当金取崩し終了等
業務費	1,261	1,367	105	発売手数料の増等
租税公課	289	320	31	
減価償却費	1,498	1,494	△4	
営業利益	2,908	4,739	1,830	
経常利益	2,378	4,251	1,873	
四半期純利益	1,677	3,006	1,328	

2024年3月期 業績予想（単体）の修正

■ 損益計算書

（億円）

	2022年度 実績 A	2023年度 前回予想 B	2023年度 今回予想 C	対 前年実績 (C-A)	対 前回予想 (C-B)
営業収益 (運輸収入)	11,433 (10,699)	13,460 (12,730)	13,770 (13,040)	2,336 (2,340)	310 (310)
営業費	7,970	8,710	8,710	739	—
人件費	1,700	1,750	1,750	49	—
物件費	3,826	4,520	4,520	693	—
動力費	632	580	580	△52	—
修繕費	1,366	1,880	1,880	513	—
業務費	1,827	2,060	2,060	232	—
租税公課	402	420	420	17	—
減価償却費	2,040	2,020	2,020	△20	—
営業利益	3,463	4,750	5,060	1,596	310
経常利益	2,788	4,060	4,370	1,581	310
当期純利益	2,019	2,900	3,120	1,100	220

2024年3月期 業績予想（連結）の修正

■ 損益計算書

(億円)

	2022年度 実績 A	2023年度 前回予想 B	2023年度 今回予想 C	対 前年実績 (C-A)	対 前回予想 (C-B)
営業収益	14,002	16,270	16,580	2,577	310
運輸業	11,340	13,360	13,670	2,329	310
流通業	1,387	1,540	1,540	152	—
不動産業	773	810	810	36	—
その他	2,494	2,540	2,540	45	—
営業費	10,257	11,250	11,250	992	—
営業利益	3,745	5,020	5,330	1,584	310
運輸業	3,385	4,670	4,980	1,594	310
流通業	83	100	100	16	—
不動産業	173	180	180	6	—
その他	100	110	110	9	—
経常利益	3,074	4,330	4,640	1,565	310
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,194	3,080	3,300	1,105	220

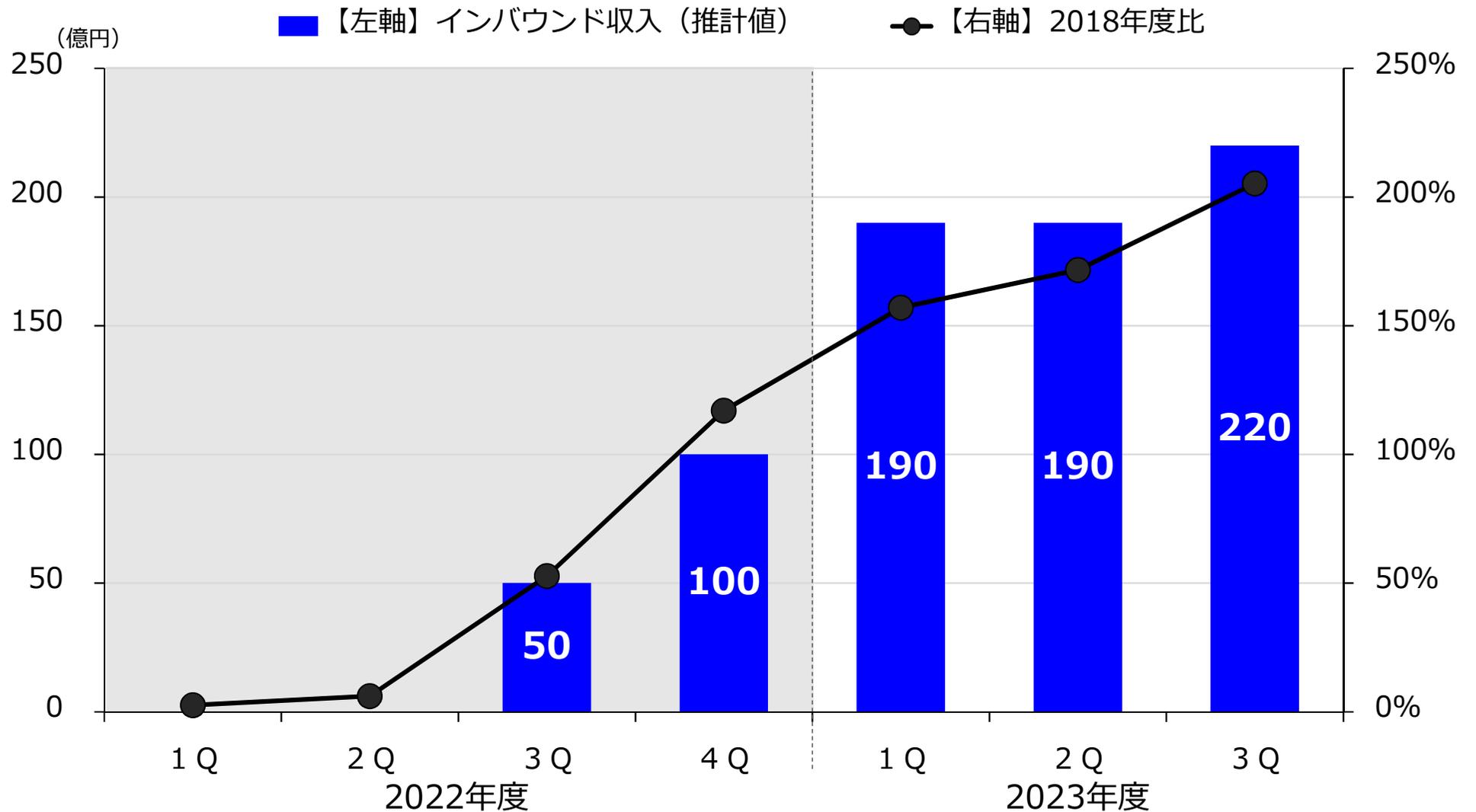
※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

Ⅱ 各種施策の状況

インバウンドの状況

○ 3 Q累計インバウンド収入 (推計値) は約600億円 (2018年度 3 Q累計比 : 177%)

※インバウンド収入 (推計値) は10億円未満切捨



ゲーム

沿線（愛知・静岡・京都）を巡るデジタルスタンプラリーを実施



ENSEMBLE SQUARE

「信長の野望 出陣」内で東海道新幹線の駅訪問等のミッションを実施



「信長 東海道に出陣！」

カプコンのゲームキャラクター達が登場する大型コラボ企画を開催



「CAPCOM TRIP TOKAI 2024」

アーティスト

緑黄色社会の新幹線車内限定トークの配信や、E Xサービスでのツアー来場者限定ノベルティを配布



緑黄色社会

VTuber

ホロライブ×京都のイベントに際し、新幹線車内限定ボイス等を提供



「ほろ～かる 京都篇」

沿線舞台作品

小説、アニメの聖地や所縁ある土地にスポットを当てた企画を開催



「負けヒロインが多すぎる！」
(愛知県豊橋市)

○ 様々なコンテンツホルダーと連携し、新たな輸送需要を創出する

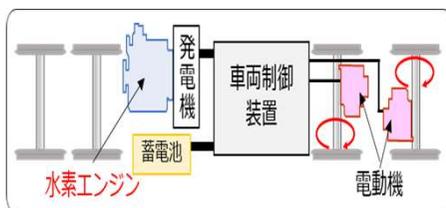
CO₂排出量削減に向けた新たな取り組み

■ 直接排出の削減

- 次世代バイオディーゼル燃料の試験に加えて、水素を燃料とした水素動力車両の開発を目指す
- 燃料電池又は水素エンジンを動力源としたハイブリッドシステムの導入を検討



水素動力ハイブリッドシステム
(燃料電池)



水素動力ハイブリッドシステム
(水素エンジン)

■ 間接排出の削減

- 東海道新幹線の太陽光発電に適した「のり面」(総延長約3.5km)に太陽光パネルを設置予定



- 発電した電気を最寄りの新幹線駅の照明等で活用し、新幹線駅等で使用する電力の一部を再生可能エネルギー由来に

設置する太陽光パネルのイメージ

カーボンオフセットサービス

■ 「貸切車両パッケージ」でのオプション

- E X 予約法人会員向けHP (※) に東海道・山陽・九州新幹線の駅間ごとの一人当たりのCO₂排出量を公表
(※) https://expy.jp/expresscard/information/co2_emissions/
- 上記のCO₂排出量を基に、「貸切車両パッケージ」のご利用区間や両数に応じたカーボンオフセットを実施。証明書も発行

CO₂をオフセット!

駅名	東京	名古屋	新大阪
名古屋	5.1	2.6	
新大阪	7.8		2.6

一人当たりCO₂排出量三角表
(単位: kg-CO₂)



証明書サンプル

■ 今後の展開

- 2024年4月以降、E Xサービスでもカーボンフリーの移動を可能とする取り組みを進めていく予定

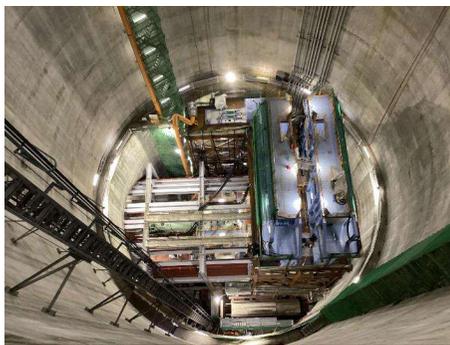
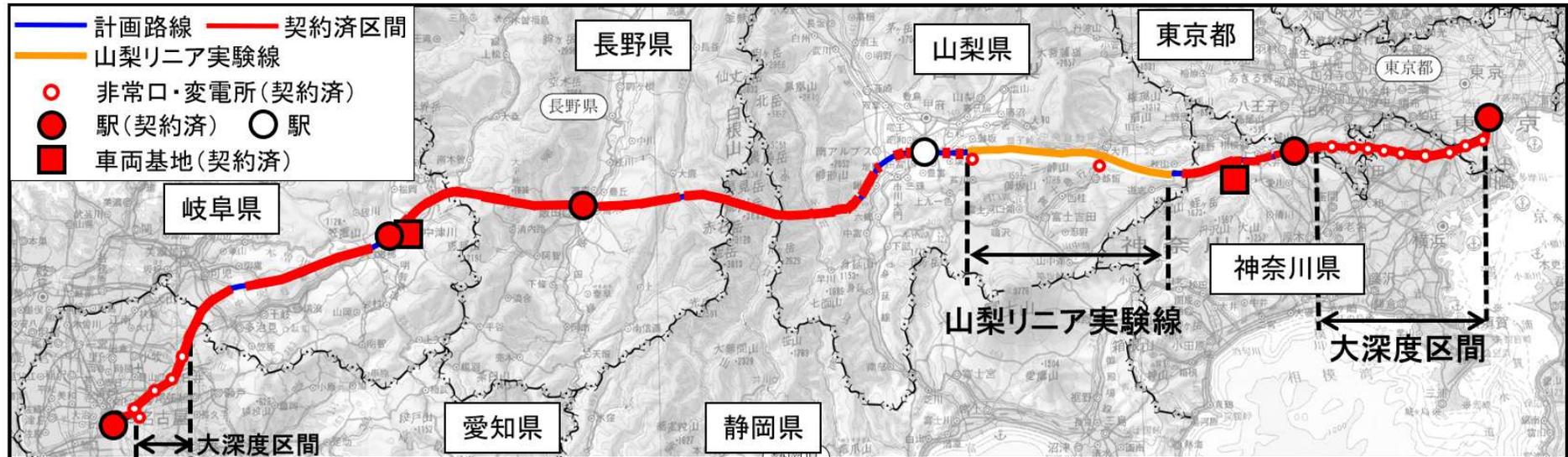
Ⅲ 中央新幹線計画の状況

中央新幹線計画の状況①

【本体工事契約箇所（2023.12.31現在）】

※本体工事契約区間等は概ねの位置を示したものです。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本を複製したものです。（承認番号 平25情複、第310号）



第一中京圏トンネル（名城工区）
シールド掘進準備工



南アルプストンネル（長野工区）
本坑掘削工



笛吹川・濁川橋りょう
橋脚工



神奈川県駅（仮称）
鉄筋工

【南アルプストンネル静岡工区】

《大井川の水資源に関する取組み》

- 国土交通省主催の「リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議」が2021年12月に取りまとめた「大井川水資源問題に関する中間報告」を踏まえて、地域へのわかりやすい説明、リスク対応とモニタリングの具体化、工事の一定期間、例外的に県外へ流出するトンネル湧水量と同量が大井川に戻す方策の実現等に取り組んでいます。
- 発電のための取水を抑制し、大井川に還元する方策について、昨年6月以降、発電事業者との協議を進め、静岡県、流域市町、利水団体等の関係者から具体的な実施案の了解を得たことを受けて、昨年12月21日に発電事業者と基本合意書を締結しました。

《南アルプスの生態系等の環境保全》

- 国土交通省主催の有識者会議において議論が進められ、昨年12月7日に「リニア中央新幹線静岡工区に関する報告書（令和5年報告）～環境保全に関する検討～」が取りまとめられました。

【大深度区間のシールドトンネル工事】

- 大深度地下をシールドマシンで掘削する第一首都圏トンネル東百合丘工区において、調査掘進範囲の掘削を終え、調査掘進の確認結果をとりまとめたうえで、昨年12月に計画路線周辺にお住まいの皆様へご説明しました。



第一首都圏トンネル 東百合丘工区

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。

(参考) 主な子会社の実績・業績予想 (連結修正前)

○実績

(億円)

	営業収益			営業利益			経常利益		
	2022年度 3Q実績	2023年度 3Q実績	前期比	2022年度 3Q実績	2023年度 3Q実績	前期比	2022年度 3Q実績	2023年度 3Q実績	前期比
JR東海高島屋	375	405	107.9%	27	40	148.9%	28	42	146.4%
JRセントラルビル	241	244	101.3%	27	33	121.0%	26	33	125.8%
JR東海ホテルズ	162	193	118.7%	△2	19	—	△0	19	—
日本車両	665	579	87.1%	19	38	198.5%	20	41	201.3%
				日本車両	四半期純利益		14	35	239.4%

(参考) 輸送量の推移 (月次利用状況・多客期利用状況)

◆月次利用状況 Monthly passenger volume (％)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway		
	東京口 Tokyo Gate						大阪口 Osaka Gate	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends	合計 Total		
23/04	140 (86)	134 (87)	169 (87)	138 (81)	140 (82)	140 (94)	142 (88)	162 (85)	111 (89)
23/05	134 (92)	131 (94)	149 (92)	132 (87)	135 (86)	135 (102)	136 (95)	137 (90)	110 (88)
23/06	125 (88)	123 (90)	138 (90)	121 (83)	125 (85)	126 (98)	126 (93)	123 (85)	105 (90)
23/04-06	133 (89)	129 (90)	151 (90)	130 (84)	133 (84)	134 (99)	134 (92)	139 (87)	109 (89)
23/07	133 (92)	129 (93)	159 (94)	131 (86)	133 (87)	134 (101)	132 (95)	135 (116)	112 (91)
23/08	139 (88)	137 (90)	159 (87)	135 (83)	136 (84)	146 (98)	140 (90)	142 (89)	115 (86)
23/09	132 (94)	131 (95)	145 (94)	127 (88)	133 (87)	132 (106)	134 (96)	152 (99)	113 (96)
23/07-09	135 (91)	132 (92)	154 (92)	131 (86)	134 (86)	137 (102)	135 (93)	143 (99)	113 (91)
23/04-09	134 (90)	131 (91)	153 (91)	131 (85)	133 (85)	135 (101)	135 (93)	141 (93)	111 (90)
23/10	123 (94)	122 (96)	133 (93)	120 (87)	125 (92)	122 (99)	123 (97)	133 (99)	108 (90)
23/11	121 (95)	120 (97)	125 (92)	117 (86)	119 (91)	123 (101)	119 (96)	126 (97)	108 (89)
23/12	115 (95)	115 (99)	115 (92)	111 (86)	112 (93)	119 (100)	113 (97)	112 (96)	109 (93)
23/10-12	119 (95)	119 (97)	124 (93)	116 (86)	118 (92)	122 (100)	118 (97)	123 (97)	108 (91)
23/04-12	128 (92)	126 (93)	141 (91)	125 (85)	127 (87)	130 (101)	129 (94)	134 (95)	110 (90)

◆多客期利用状況 (東京口) Passenger volume during the peak holiday seasons (Tokyo Gate)

・年末年始 Winter Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
12/28~1/4	108 (101)	107 (103)	116 (101)	105 (92)	107 (91)	111 (92)

(※1) カッコ内は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2018年度との比較。

Note1: Numbers in parentheses are compared to FY2018 (before the decline due to the COVID-19 pandemic).

(※2) 新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note2: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

(参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

◆商業施設 Commercial Facilities

ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び タカシマヤ ゲートタワーモール JR Nagoya Takashimaya and Takashimaya Gate Tower Mall		
期間 Period	売上高合計 2024年2月期 (百万円) Total Sales FY2023: 2023.3~2024.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%) YoY Comparison
23/03	16,828	112.1
23/04	14,319	110.2
23/05	14,548	110.3
23/06	14,477	107.9
23/07	15,515	112.3
23/08	13,254	114.9
23/09	15,112	116.7
23/10	16,734	109.5
23/11	16,604	108.5
23/12	22,260	114.2

◆ホテル Hotels

名古屋マリオットアソシアホテル Nagoya Marriott Associa Hotel		名古屋JRゲートタワーホテル Nagoya JR Gate Tower Hotel (※)		
期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
23/04	72.7	20.7	84.7	13.1
23/05	71.4	8.9	81.3	3.3
23/06	72.2	4.2	82.8	-2.1
23/07	69.5	2.3	85.4	4.8
23/08	76.0	8.1	88.0	2.3
23/09	77.3	6.7	85.5	-1.5
23/10	83.1	5.7	89.4	-0.5
23/11	86.2	0.4	93.8	-0.7
23/12	78.9	-6.7	90.1	-5.2

(※) 各月の数値は速報値のため、確定値とは異なる場合がある。

Note: The number for each month comes from a quick estimation, which might differ from the actual results.